

ラスロ・テンゲイ 教授(ドイツ、ヴッパータール大学)講演会のご案内

I. 2009年3月17日(火) 午後4時30分から7時30分

大阪大学豊中キャンパス待兼山会館会議室

"Experience and Infinity according to Kant and Husserl"

(指定討論者：浜渦辰二、司会:村上靖彦、英語で行われます。)

阪急宝塚線石橋駅下車徒歩15分、大阪モノレール柴原駅下車徒歩10分

<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/annai/about/map/toyonaka.html>

地図の左上、35番の建物です。

II. 3月18日(水) 午後3時から6時

京都大学文学部新館第一講義室

"L'expérience de distance et la memoire historique" (「隔たりの経験と歴史的記憶」)

(*リクールの『記憶・歴史・忘却』をめぐる考察。講演はフランス語、日本語訳配布)

司会・通訳：杉村靖彦(京都大学)

III. 3月19日(木) 午後2時 - 午後5時

立命館大学衣笠キャンパス 創思館 カンファレンス・ルーム

http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html

http://www.ritsumei.jp/campusmap/index_j.html

「第一哲学としての現象学(フッサールにおける原事実の形而上学について)」

Phänomenologie als Erste Philosophie (Zu Husserls Metaphysik der Urtatsachen) (翻訳を配布します)

司会：和田渡氏(阪南大学)

質疑応答はドイツ語を基本としますが、英語・フランス語も可能です。ドイツ語に関しては、田口茂氏(山形大学)が必要に応じて議論をサポート致します。

終了後懇親会を予定しています。

@@

ラスロ・テンゲイ Laszlo Tengelyi 氏は、ハンガリー出身、現在ドイツを代表する現象学者の一人です。フッサール、ドイツ観念論を専門とする研究者であるとともに、ミシェル・アンリ以降の現代フランスの現象学運動を積極的に紹介されています。

近著

- Erfahrung und Ausdruck: Phänomenologie im Umbruch bei Husserl und seinen Nachfolgern,

Coll. Phaenomenologica, Springer, 2007

- L'expérience retrouvée, L'Harmattan, 2006

- The Wild Region in Life-History, Northwestern Univ. Press, 2004